

HCL information

total P1NP

(1型プロコラーゲン-N-プロペプチド)のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、total P1NP（1型プロコラーゲン-N-プロペプチド）の検査を社内検査にいたしますのでご案内申し上げます。所要日数は1～2日に短縮されます。

基準値・測定方法の変更はございません。

その他の検査共々、今後共御用命の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- 変更開始日 : 平成 26年 11月 10日（月）受付分より
- 対象項目 : total P1NP（1型プロコラーゲン-N-プロペプチド）
- 測定方法 : ECLIA法

変更内容

項目コード	項目名	検査方法	基準値	検体量	所要日数
1532	total P1NP (1型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	ECLIA法	女性閉経前 (30～44歳)	血清 0.3mL	1～2
			16.8～70.1		
			女性閉経後 (45～79歳)		
			26.4～98.2		
			男性(30～83歳)		
			18.1～74.1		
			ng/mL		

*現在 上記項目に関しては検査案内に記載はありません。

*保険点数は170点/144点（生化学検査（Ⅱ））となります。

*同様の検査としてインタクトⅠ型プロコラーゲン-N-プロペプチド（IntactP1NP）の記載が27頁にあります。



株式会社 兵庫県臨床検査研究所

本社 TEL: 079-267-1251 神戸西支所 TEL: 078-929-0492

岡山 TEL: 086-952-5218 神戸東支所 TEL: 078-252-7315

total P1NPの社内ルーチン化を始めます。

total P1NPとは？

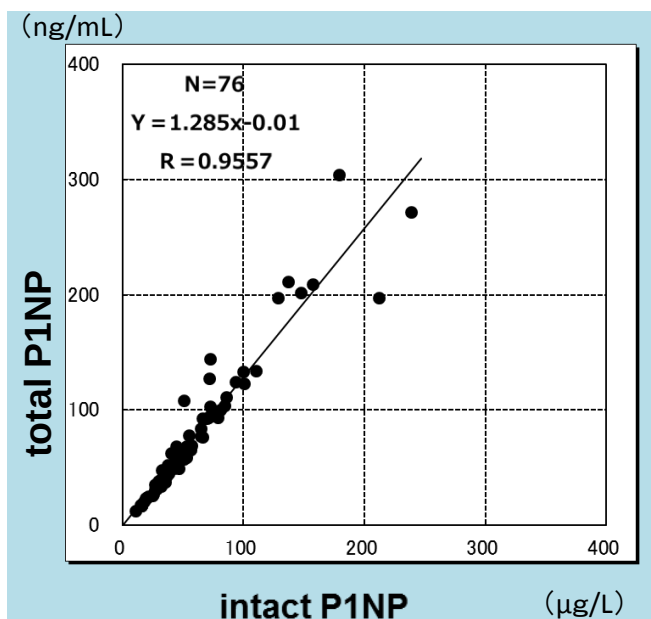
total P1NPはオステオカルシン（OC）・BAP・Intact P1NPと同様の骨形成マーカーのひとつです。P1NPは骨形成を早期から鋭敏に反映し、骨粗鬆症の治療のモニタリングに有用です。

I型コラーゲンは骨以外の皮膚・靱帯・角膜などでも合成されますが、骨におけるコラーゲンの代謝が他の軟部組織より速いため、主に骨のコラーゲンを反映していると考えられています。

現在、RIA法で測定されているIntact P1NPは三量体のみ測定していますが、total P1NPでは三量体および単量体を測定します。血中での単量体は極めて少ないため、Intact P1NPとの相関は良好です。ただし、Intact P1NPに比べtotal P1NPの方が透析患者では若干高めにでる傾向が見られるといわれています。また、Intact P1NPと同様、total P1NPも溶血により測定値は低下します。

参考資料：臨床検査ガイド2013～2014：210～213，2013

〈全域〉



〈100ng/mL以下〉

